

授業の概要					
校種	小学校				
授業日時	2014年7月2日	学年	5	教科	社会
単元名	水産業のさかんな地域				
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な水産物の漁獲量や主な漁港、漁場などの分布、水産業に従事している人びとの工夫や努力について、地図や統計などの資料を活用したり、インターネットで現地から発信される情報を収集したりして調べる。 ・ 水産業に従事している人びとは消費者の需要に応え、新鮮で良質な水産物を生産し出荷するために様々な工夫や努力をしていることや、運輸の働きにより新鮮さを保ちながら生産物を早く消費者へ届ける努力をしていることを理解できるようにする。 				
単元の流れ	①食生活と水産物の消費量 ②豊かな漁場をもつ日本 ③土佐清水市のサバ漁 《本時》 ④アジ・サバ漁とその工夫 ⑤沿岸漁業と遠洋漁業 ⑥魚の輸送とその工夫 ⑦水産業のかかえる問題 ⑧つくり育てる漁業 ⑨・⑩水産業のまとめ（QBプレゼン）				
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清水さばがどのような漁業の仕方ととられているかを調べ、漁業に携わる人びとの願いを考えることができるようにする。 				
本時の授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 少人数学習 <input type="checkbox"/> 習熟度別学習 <input type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> 個別学習				

ICT活用場面	
授業場所	普通教室
ICT機器活用場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他
	その他
活用者	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者 <input type="checkbox"/> ICT支援員 <input type="checkbox"/> 授業づくり指導員
活用機器	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者用タブレット <input checked="" type="checkbox"/> 指導者用タブレット <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	その他 MacBook Pro
活用コンテンツ	<input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> SKYMENU <input type="checkbox"/> Schoology <input checked="" type="checkbox"/> その他
	その他 ・ Skype ・カメラロール
タブレット活用形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一人一台 <input type="checkbox"/> 学習班に一台
活用の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土佐清水市とSkypeでつなぎ、水産業への意欲、関心を高めることができた。 ・ タブレットでフォルダにある動画資料を調べ、サバをとる漁業の様子をとらえることができた。

授業の展開

学習の流れ	ICT活用場面	ポイント
<p>【導入】</p> <p>サバ漁のさかんな高知県土佐清水市の漁港と Skype でつなぎ、漁業の様子に関心をもつ。 ・インタビュー形式で、質問していき、答えてもらう。 ・漁法（しかけ） ・漁場 ・船の大きさ ・工夫 など</p> <p>【展開】</p> <p>土佐清水市ではどのようにして漁業を行っているのかを調べる。</p> <p>漁：漁法—立縄漁法 テグス（沿岸漁業） 漁場—足摺沖 2, 3 時間 工夫—魚群探知機、1 匹ずつ針を外す、シークラー</p> <p>港：・水揚げ—新鮮なまま 網で活魚槽へ 生息水温 丸 1 日</p> <p>土佐清水市で漁業をする人びとは、どんな願いをもっているか考える。</p> <p>土佐清水市と再び Skype でつなぎ、漁業をしている人の願いを聞く。</p> <p>【終末】</p> <p>さばの漁獲量が、日本で一番多い長崎県松浦市では、どんな漁業をしているのか話し合う。</p>		<p>Skype で現地とつながることで、臨場感をもたらせ、清水さばへの関心を高める。</p> <p>タブレットの中にある漁業の様子を写した動画を見て、漁法や漁場、漁の工夫などを調べ、ノートにまとめる。</p> <p>Skype で土佐清水市の漁師の願いや思いをリアルタイムで受けとめる。</p>